

自衛官候補生 25 k m 行進訓練を激励

東播支部副支部長 池田 廣志

令和7年6月5日、青野原駐屯地において実施された自衛官候補生による25km行進訓練に際し、東播支部（支部長 石田 真一）は会員9名で参加。候補生の出発から帰隊までの経路上における各地点にて、候補生への声掛けを行い、訓練に臨む自衛官候補生を力強く鼓舞・激励いたしました。

出発前の自衛官候補生



当日、教育隊長は訓示において「チームワーク」「健康管理」「威厳」の3点を要望事項として挙げられ、候補生は意気高くスタートの号令に応じ、青野原駐屯地周辺の小野市および加西市を巡る行進に臨みました。雲一つ

ない炎天下のもと、体力が容赦なく奪われる過酷な状況が続く中でも、候補生たちはひたむきに歩を進めました。

激励する支部会員の面々



支部会員は、# 2・# 3・# 4・# 5 及び第 7 休止点にて熱心な応援を展開。特に最終休止点から駐屯地までの区間では、支部会員（※）が候補生とともに行進に参加し、離脱しそうになる候補生に進んで声を掛けると、候補生もまた引き返し、仲間を支える姿が見受けられ、連帯の強さを改めて実感する場面となりました。

会員一同は、自らの若かりし頃に経験した苦い訓練の記憶を思い起こしつつ、疲労と荷重に耐えながら懸命に歩みを進める候補生たちに、親のような思いを込めて「ファイト！頑張れ！」と熱い激励の声を送り続けました。

遅しく行進する自衛官候補生達



駐屯地到着



教育隊長より講評



6月下旬に修了式を迎える自衛官候補生諸官に対し、今回の訓練における完歩の成果を糧とし、今後も同期と切磋琢磨しながら、立派な社会人、そして誇り高き自衛官として力強く成長されることを心より願ってやみません。

※：空中会員